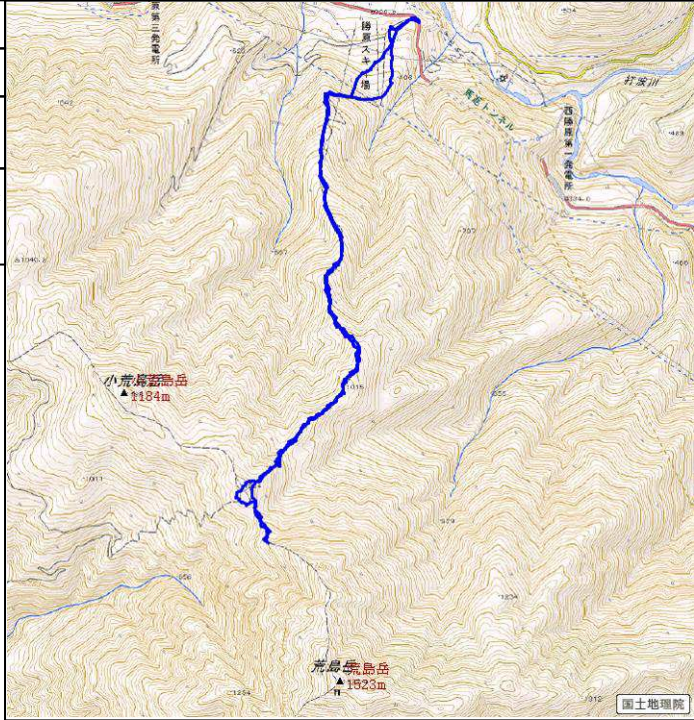


3月度 例会 山行報告書		報告者	白井	参加 メンバー	CL: 日置 SL: 田口 松浦、吉田、 谷川、白井 (記録)
個人		報告日	4/14		
山域		山行日	15年3月14日(土)		
山名	荒島岳				

山行目的	春山の練習	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



3/13 雪
19:45 刈谷発
23:30 勝原駅着
01:00 就寝
3/14 曇り後晴れ
6:00 勝原駅発
6:30 登山口発
7:30 一本
8:40 一本
9:50 一本
10:20 しゃくなげ平
11:00 もちが壁前
登頂断念
雪上訓練
12:00 下山開始
13:00 一本
13:50 登山口着



〈山行報告〉 週の中ごろに寒波が来ており、多くの降雪が想定された。金曜夜の移動中も雪が降り続いており山行の困難さが想像された。想像どおり駐車場&キャンプ地予定であった勝原スキー場跡駐車場へのアプローチ道が雪で埋まっており辿り着けず。急遽、勝原駅に変更した。無人駅であり鍵もかかかっていなかったため、建物内にテントを張る事にした。思いがけずとても快適な寝床となった。

翌朝、国道脇に車を止め上り始める。雪が深いので最初からワカン装着し歩く。山スキーのペア二組が先を行き、その後のトレースを歩いていく。膝まで埋まる雪の中をまずは田口さんを先頭にして歩く。スキーのトレースはあるが足がズボズボ埋まる。次に先頭を歩いてみたが10分足らずでバテてしまった。後ろに戻ると段違いに歩きやすいのが分かる。先頭は別格だが2番目とそれより後ろでもかなり違うと感じた。後ろを歩きながら先輩方の歩き方を学び、2順目に先頭が回ってきた時はペースとキックステップを心掛けたら少し長く歩けたように思う。しかし、雪の深さに想定以上に時間を取られ、しゃくなげ平に着いた時にはもう10時半であった。厳しいとは思ったが荒島岳に挑む。しかし、もともと急斜なもちが壁が積雪により更に難易度が上がっている事と、既に11時になっている事もありこの時点で登頂は諦めることにした。

登頂は諦めたが浮いた時間を生かし、もちが壁付近にて空身でアイゼンの練習とゾンデ棒体験を行った。1時

間ほど雪上訓練を実施し12時に下山を開始した。登りは大変だったが、下りは雪の上を滑るように歩いて非常に楽しかった。また、最後はスコップの練習もした(ソリ代わりとして)。

登頂こそで出来なかったものの、軽いラッセルや、急登でのアイゼン歩行もでき、いろいろな経験が積めた満足度の高い山行だった。



集合写真

〈リーダー所見〉 今回の山行は深い雪のため荒島岳登頂ならずでしたが、皆の意見一致で安全サイドでの判断をし楽しい山行とすることができました。雪上訓練では普段使用しない道具を扱うことができ、先輩から後輩に指導も頂けました。残雪登山と銘打っていたが、蓋を開ければ雪山登山となっており、シーズン最後に良い経験を積むことができたと思います。

確認
(リーダー)
日
15/03/24
置
作成
(報告者)
白
15/3/22
井